

## ◆外部研修を通じて将来のリーダーを育成

熊本県菊池市  
セブンフーズ  
株式会社

研修期間  
平成26年4月～平成27年3月

神奈川県平塚市  
株式会社  
フリーデン

セブンフーズ(株)は、1970年の創業から年々規模拡大し、現在は熊本県内6つの農場で母豚約2200頭を飼育し、約16億円を売り上げる大規模会社です。  
**「経済的に勝ち残れる経営」・「後継者が育つ経営」**を目指し、これまで外部研修を数多く実施するなど、人材育成や雇用環境整備に積極的です。  
今後も更なる規模拡大を目指すために、社員の成長を促す人材教育システムの構築や、定着に繋がる給与・福利厚生制度の充実を検討されています。

～従業員を派遣して～

派遣元法人  
セブンフーズ株式会社さんに  
聞きました



セブンフーズ(株)大津第二農場

会社の重要な戦力を長期間外部へ派遣・・・  
どういった狙いがあったのですか？

これからの農業法人には、優秀な社員を確保し、意欲ある社員の成長を促し、自社の存続と発展を可能とする組織を確立することが求められます。  
他の法人の組織や社員、経営技術を身をもって学ぶことで、自社の長所や短所が見えてきます。そこで自社の組織や業務を改善することで、最終的に組織の発展に結びつくと考えています。また、そうしたことを共に考えていくことができるリーダーを育成する狙いもあります。

～派遣先で得たもの～

研修生  
前田元気さんに  
聞きました

他社で研修してみて、どうでしたか？  
学んだノウハウをどう活かしたいですか？

派遣先では1人の新入社員として、温かく、時に厳しく指導していただきました。

養豚はもっと成長できる産業ですが、作業の機械化や効率化を積極的に図り、従業員の安全確保と肉体的疲労の軽減など、就業環境を整備することが必要です。

国内有数の飼養頭数を誇る(株)フリーデンのシステムや組織体制など、両社を比較しながら良いところ取りができたらと考えています。従業員が生き生きと働ける現場作りを学び、持ち帰りたいです。



(株)フリーデン タカナラ農場  
豚舎内での作業風景

～研修生を受け入れて～

受入法人  
(株)フリーデン タカナラ農場  
(群馬県桐生市)さんに  
聞きました

受入のメリットはありましたか？

タカナラ農場は、毎年新入社員が配属されるような規模ではないので、外からの人材を受け入れることで職場の活性化に繋がりました。

また、各社員が自らの仕事を顧みる良い機会にもなりました。



右から和田秀樹農場長、研修生の前田元気氏

興味を持たれた方は全国農業会議所へ→→→